

令和7年度地震・津波防災訓練 (大阪府岸和田市・内閣府)

実施報告書 (概要版)

大阪府岸和田市について

- 大阪府岸和田市は、人口190,658人（令和2年国勢調査）であり、海側の市街部に人口が集中している。
- 全国的には「岸和田だんじり祭」や岸和田城で知られる。臨海部は埋立地の工業地帯となっているほか、水産業も盛んで、府内屈指の漁獲量となっている。
- 南海トラフ地震が発生した場合、著しい被害が生ずるおそれがあるため、「南海トラフ地震防災対策推進地域」に指定されている。



主な被害想定

- 南海トラフ地震、上町断層帯地震、中央構造線断層帯地震で、大きな被害が出るのが想定されており、最も被害が大きいとされている南海トラフ地震が発生した場合、マグニチュードは9.0、最大震度は6弱、建物被害は8,261棟、死者は1,908人と想定されている。
- 南海トラフ地震が発生した場合には、沿岸部を中心に広域での浸水のおそれがある。



訓練概要

- 訓練想定：南海トラフ地震が発生し、津波警報が発表される。
- 実施日時：【訓練実施前WS】 令和7年12月16日（火）13:00～15:00
【地震・津波防災訓練】令和8年1月16日（金）13:05～14:40
【訓練実施後WS】 令和8年1月16日（金）14:40～15:00
- 主催：岸和田市
- アドバイザー：関西大学社会安全学部 奥村与志弘 教授
- 参加者数：257名
- 参加機関：野村中学校教員及び生徒、防災福祉コミュニティ（下野町連合町会防災協議会等）、岸和田警察署、大阪府危機管理室
- 訓練項目：教室内でのシェイクアウト訓練、校舎から校庭・校庭から地域の公民館への避難、リヤカー及び車椅子を活用した避難行動要支援者の避難支援、避難所の開設、備蓄品等展示
- 訓練の特色：校内での避難行動に加え、学年ごとにルートを分けて、避難所に見立てた近隣の地区公民館まで徒歩で避難を行う。
リヤカーや車いすに要支援者役の防災福祉コミュニティのメンバーを乗せて、避難所まで搬送支援する訓練を実施する。

訓練の成果

【成果】

- 中学生を主体とした全体で200名以上の参加となる大規模な訓練であったが、校外においても、大きなトラブルなく訓練を実施することができた。
- リヤカーや車いすを避難行動要支援者の避難支援の方法の一つとして活用できることが確認できた。
- 地震の揺れが2～3分続くことや、避難先はひとつではなく第2候補、第3候補などの選択肢があることが参加した生徒には伝わったと考える。
訓練前後のワークショップやアンケートにより自ら考える力がついた。

【課題】

- 野村中学校3年生によるリヤカーや車いすでの避難行動は、途中で段差に引っかかるなど円滑に進まない場面があり、想定より時間を要した。
- 本訓練の成果をどのようにして反映していくかが課題であり、今回の訓練において工夫した点や、大事なポイントをとりまとめた資料を作成して、沿岸部の自主防災組織や学校・企業などに対して、普及しつつブラッシュアップを図る必要がある。

12月16日(火) 13:00～15:00 訓練実施前ワークショップ

- ・ 訓練当日の具体的な避難行動の明確化と認知度向上のために訓練前ワークショップを実施した。
- ・ リヤカーや車いすの使い方のデモンストレーションを通して、避難支援の際、何に注意する必要があるのか明確になったという意見が挙げられた。

▼車いす・リヤカー使用方法の説明



▼車いすによる避難行動のデモンストレーション



1月16日(金) 13:05～14:40 地震・津波防災訓練

- ・ シェイクアウト訓練を実施後、教室から校庭まで避難を実施した。
- ・ 防災福祉コミュニティ同行のもと、避難・避難誘導訓練を実施した。
- ・ 防災福祉コミュニティのメンバーを要支援者と想定し、リヤカーや車いすでの避難支援を実施した。
- ・ 安否確認・備蓄品研修では、段ボールパーティー、備蓄品の解説をいただいた。

▼シェイクアウト訓練



▼避難場所への避難準備



▼中学1年生による避難行動



▼リヤカーで避難を支援



▼車いすでの搬送



▼備蓄品の解説



1月16日(金) 14:40～15:00 訓練実施後ワークショップ

- ・ 訓練の振り返りと今後必要な防災対策について、訓練実施後ワークショップで話し合った。
- ・ 車いすでの避難は、長時間に及ぶと運ぶ側の負担も増えるため、正しい姿勢で行う必要があるといった意見が挙げられた。

▼振り返りのワーク



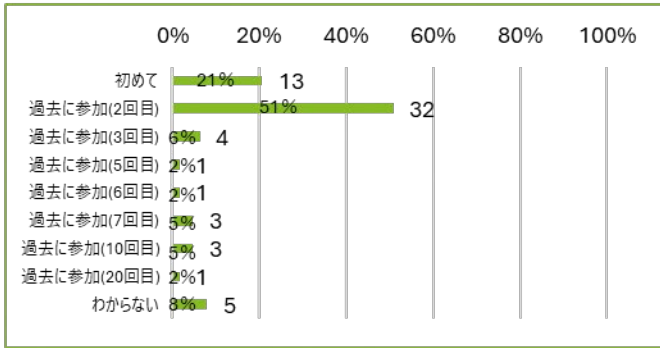
▼奥村アドバイザーによるコメント



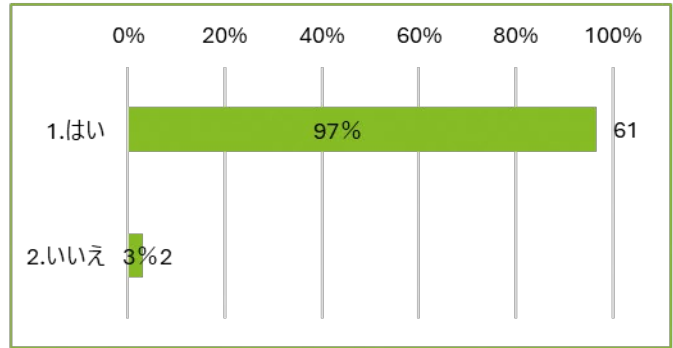
アンケート結果

回答数：63

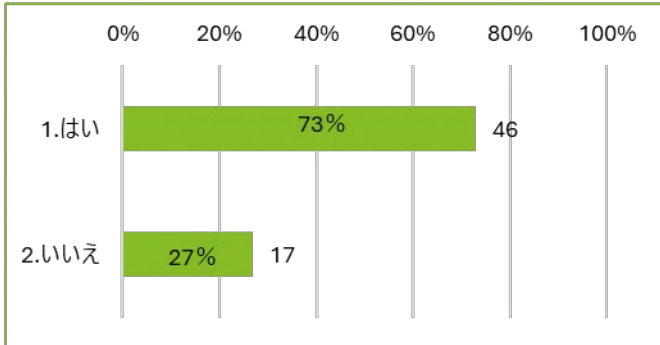
1. これまで防災訓練に何回参加しましたか。



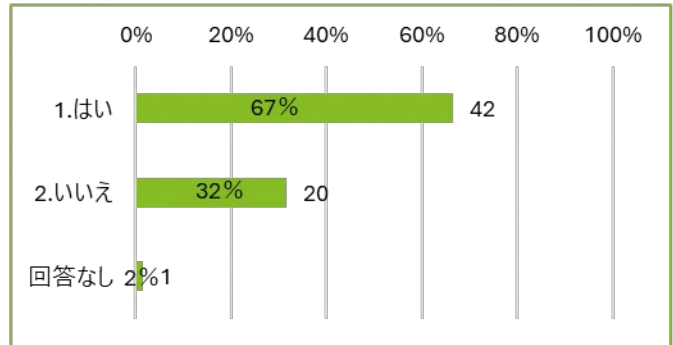
2. 今回の訓練に参加し、災害に対する自らの備えの課題や改善方法が分かりましたか。



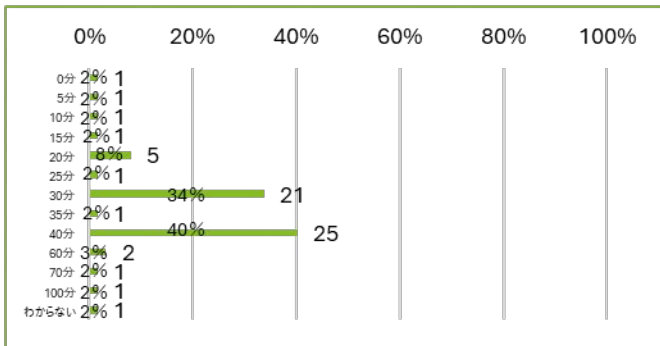
3. 岸和田市が作成している「津波ハザードマップ」を見たことはありますか。



4. 避難経路に危険な場所がありましたか。



5. 災害発生時にいた場所(野村中学校)から避難先(大宮地区公民館)まで何分くらいかかりましたか。



6. あなたの周囲や近所に避難行動要支援者(自力で避難することが難しく、周囲の支援が必要な方)はいますか。

